

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		水防対策			款	5	項	3	目	3	事業	3	整理番号	409							
担当部課名		都市整備部建設課			係名	計画調整係			連絡先電話番号	3422			昨年度整理番号	472 枝番号							
上位施策No・施策名		10 水害対策の推進												予算事業区分							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	40	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	5	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例東京都水防計画													
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		台風・集中豪雨の正確な情報を速やかに収集・把握し、迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り被害を最小限にします。			活動指標名(式)		(1) 緊急水防作業委託回数 (2) 雨量・水位観測装置の保守点検回数													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		雨量、水位の観測装置等の維持管理 台風・集中豪雨などの気象情報収集 土のう手配、ポンプ排水などの水防活動			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 土のう積み個数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 水防態勢の回数 算定式・指標の説明等													
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率	計画に対する20年度の達成率								
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度										
指標	活動指標(1)		回	5	0	7	0	12	0	0	0										
	活動指標(2)		回	0	2	2	2	2	2	2	2	100.0	100.0								
	成果指標(1)		個	1,057	0	9,975	0	972	0	0	0										
	成果指標(2)		回	8	0	9	0	22	0	0	0										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	309,022	54,671	39,574	36,317	20,926	36,289	20年度予算執行率%			57.6								
	(内)投資的経費等		千円	271,073	16,150	3,080	2,199	2,172	0	特記事項 事業費のうち、緊急水防委託の回数が予定を下回った為、未執行となりました。											
	(内)委託費		千円	298,720	7,392	24,291	32,996	18,160	33,232												
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.40 0.00	1.10 0.00	1.16 0.00	1.10 0.00	1.14 0.00	1.10 0.00												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	21,744	10,054	10,602	9,955	10,317	9,955												
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0												
	総事業費 + +		千円	330,766	64,725	50,176	46,272	31,243	46,244												
	単位あたりコスト (-)÷		円	11,938,600		6,728,000		2,422,583													
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0														
		国からの補助金等		千円	0	0	0														
都からの補助金等		千円																			
その他の補助金等		千円																			
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0													
差引:一般財源 -		千円	330,766	64,725	50,176	46,272	31,243	46,244													
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0													

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 409

20年度 の事業実施 状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				水防情報システム維持管理	2
		緊急水防作業委託	12	回	2,625
		水防基地設置	1	カ所	1,229
		水防訓練	1	回	1,148
		その他(維持管理経費ほか)	10,432		
	(2)事業実績	8月末の度重なる集中豪雨により、昼夜を問わない連続する水防活動を行いました。雨季の前(5月27日)に水害に備えるため、関係機関と合同で水防訓練を行いました。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	近年は集中豪雨等による被害が多く、河川沿いの地域外でも水害が起こるようになりました。被害件数 16年度 54件、17年度 1898件、18年度 6件、19年度 16件、20年度 0件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	水害時に、土の手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望があります。
	今後の予測	地球温暖化やヒートアイランド現象などにより、局所的な集中豪雨は増える傾向にあります。また、住宅の地下利用など宅地の高度利用に伴う浸水被害も増えています。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	被害軽減のための迅速な水防活動を行うには、正確な雨量・水位の観測値、精度の高い気象情報が必要であり、集中豪雨による地下浸水などの被害軽減のために、土のう積み・ポンプ排水は必要です。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	
	既に可能な経費の削減を行っています。
	区民の安全や財産を守るのは、水防法にもとづく水防管理団体としての責務であり、受益者負担の考えはありません。
	雨量・水位観測システムの良好な状態を保持するには、一定規模の維持管理経費がかかります。これまでに可能な経費の削減を行ってきました。

協働等 点検	(2)協働等の相手	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方
(1) 協働等は実現している 十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)	(3) 委託 [業務量の50%以上に相当]	実施継続

評価と課題	区では、平成17年9月に発生した集中豪雨による大きな浸水被害を受け、水防対策の充実を図ってきました。最近多発している都市部特有のゲリラ豪雨にも迅速な対応ができるよう対策を講じているところです。具体的には、雨量や河川水位などの必要な情報を区民に速やかに伝える仕組みづくりや水防活動に必要な資機材を備えた水防基地の整備に努め、水害の未然防止を図ってきました。今後も、区や都の関係部署と連携した水防活動を行い、安全で安心な区民生活を守っていきます。
-------	---

改善・ 見直し の方向 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	土のう貸し出しのお知らせを区の広報紙やホームページへ掲載しました。また、水防情報システムが良好に作動するよう保守点検を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緊急水防態勢について、出水期前までに現在の1班から2班態勢へ班編成の見直しを行います。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	現在の区内在住者を中心とする態勢から、要員の範囲を隣接する区市へ拡大することとなるため、選択基準を考える必要があります。	
22年度 方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	既に可能な経費の削減を行っています。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		雨水流出抑制対策等工事助成			款	5	項	3	目	3	事業	4	整理番号	410		
担当部課名		都市整備部建設課			係名	計画調整係			連絡先電話番号	3422			昨年度整理番号	473	枝番号	
上位施策No・施策名		10 水害対策の推進			予算事業区分							投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	6	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	4,6	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 《雨水浸透施設》敷地面積が1,000㎡未満の個人住宅等の所有者で、区の定めた雨水浸透施設を設置する個人。 《防水板設置》住宅、店舗、事務所等個人が使用する建築物に防水板設置および関連工事を行う個人。 《高床化工事》助成対象地域内において、住宅等(住宅、店舗、事務所および居室を有するもの)の高床化工事を行う建築主。														
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○浸水被害の軽減 ○地下水と湧水の涵養と緑勢の回復														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○雨水浸透施設を設置者に工事費の一部を助成 ○防水板設置や高床化工事を行う者に、工事費の一部を助成														
根拠法令等		(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月) (4) 杉並区水害予防住宅高床化工事助成金交付要綱(平成20年5月) (5) 杉並区防水板設置工事助成金交付要綱(平成20年5月)														
活動指標名(式)		(1) 雨水浸透施設設置助成件数 (2) 雨水浸透施設設置助成額														
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量 算定式・指標の説明等 単年度 成果指標名(2) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量 算定式・指標の説明等 平成6年度からの累計														
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	22年度						
指標	活動指標(1)	①	件	47	100	102	100	113	100	100	113.0	113.0				
	活動指標(2)	②	千円	14,540	30,000	26,311	30,000	31,335	30,000	30,000	104.5	104.5				
	成果指標(1)	③	㎡/h	355	550	553	550	605.7	550	550	110.1	110.1				
	成果指標(2)	④	㎡/h	4,292	4,842	4,845	5,395	5450.7	6,000.7	6,495	83.9	101.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	15,076	30,586	26,894	42,331	32,268	34,275	20年度予算執行率% 76.2						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	14,540	30,000	26,311	42,000	32,125	33,000	特記事項 平成20年度より、防水板設置および高床化工事への助成事業を開始し、1200万円の事業費を計上しました。 上記事業について、助成件数が予定を下回ったため、未執行となりました。						
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	8	8	21							
	職員数(常勤   非常勤)	⑧	人	0.86   0.00	1.10   0.00	1.16   0.00	1.10   0.00	1.35	1.30							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	7,792	10,054	10,602	9,955	12,218				11,765			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	22,868	40,640	37,496	52,286	44,486	46,040							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	177,191	106,400	109,657	102,860	109,389	130,400							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0			
都からの補助金等		⑮	千円				0	6,607	500							
その他の補助金等		⑯	千円				0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	6,607	500							
差引:一般財源⑰-⑬	⑱	千円	22,868	40,640	37,496	52,286	37,879	45,540								
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 410

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		雨水浸透施設設置工事の助成	113	件	31,335
		水害対策家屋工事助成	2	件	790
		雨水浸透施設設置工事の助成の印刷費等(需用費)			135
		雨水浸透施設設置工事の助成の印刷費等(通信運搬費)			8
		その他 )			0

事業環境の変化	(2)事業実績	雨水流出抑制対策工事助成については、前年度より11件、執行率が18.8%増えました。洪水などによる家屋への浸水被害を防止するため、平成20年度に、「杉並区水害予防住宅高床化工事助成金交付要綱」および「杉並区防水板設置工事助成金交付要綱」を制定し、新規に『水害対策家屋工事助成』を開始しました。助成件数は防水板設置工事の2件、助成額は79万円でした。
	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の雨水流出抑制目標対策量は、472,000㎡(神田川・目黒川水系)で、平成20年度末の達成数量は、210,062㎡でした。上記達成数量に含まれる雨水浸透施設設置工事助成による達成数量は、5450,7㎡でした。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	工事費用負担が高額になるので、助成金の単価や、限度額を増額をして欲しい。対象となる敷地面積が100㎡以上となったが、助成金の規格に該当する浸透施設が、スペース的に設置出来ない。 高床化工事助成を利用するに当たっては、北側斜線の緩和を伴わないと、利用できない。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	雨水浸透施設を設置することにより、雨水の下水への流入を減らし、総合治水対策の一環として下水や河川の整備とともに、浸水被害の軽減に貢献しています。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っています。水害対策家屋工事助成は、洪水による家屋への浸水被害の防止に、役立っています。
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	個々の建築設計に適応した対策の推進を図ることにより、対象者の協力が得やすくなります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	雨水浸透施設の受益者は助成対象者だけではなく、主に水害の恐れがある不特定多数の区民です。また、各助成制度とも、助成金受領者は工事費の超過分を負担しています。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	各助成とも上限額を設けて、工事費の一部を助成していますが、施主は超過分を負担していますので、コストを下げる余地はありません。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	区では、総合治水対策の一環として、雨水流出抑制対策に取り組んでいます。公共施設はもちろん民間施設の対策についても積極的に指導、支援しています。平成18年7月からは、雨水流出抑制対策の計画書届出対象面積を300㎡から100㎡に引き下げ、きめ細かく対策を推進しています。流出抑制策の一つである雨水浸透の促進は、治水ばかりでなく、地下水や湧水の涵養等にも有効ですので、今後も力を入れて取り組んでいきます。平成20年6月からは災害に強い建物づくりを支援するため、高床化や防水板の工事助成も始めています。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減      コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 雨水流出抑制事業について、区民へのPRに努めるとともに、指定確認検査機関との連携を図りながらすすめました。
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 雨水流出抑制対策工事助成については、建築相談を通じて、高床化工事と防水板設置助成については、平成21年度中にわかりやすいパンフレットを作成して、事業の主旨や効果についての説明を行うことにより、区民や事業者の理解を得られるように努めていきます。

22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2) 理由 新築時に浸透施設を設置するケースが大半ですので、助成件数は社会情勢に左右される面があります。事業の必要性について積極的なPRを行い、着実に、年間目標を上回るよう努力します。